チャノキイロアザミウマ情報第１号

令和７年４月３０日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

発生ピーク予測日は前年と比べてやや遅い
発生状況に注意し、防除しましょう

１　発生ピークの予測

有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第１世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて５月14日から21日です（表）。現時点で本年のチャノキイロアザミウマ第１世代成虫の発生ピークは、前年と比べ５日～７日遅いと予測します。

表　チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（４月30日計算時点）

	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎
第1世代	5/18	5/21	5/14	5/15	5/18	5/18
(前年)	5/13	5/15	5/7	5/10	5/11	5/12
前年差	5日遅	6日遅	7日遅	5日遅	7日遅	6日遅
第2世代	6/14	6/18	6/10	6/10	6/15	6/16

	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/15	5/17	5/19	5/18	6/10
(前年)	5/10	5/10	5/12	5/11	6/5
前年差	5日遅	7日遅	7日遅	7日遅	5日遅
第2世代	6/12	6/14	6/16	6/15	7/9

各地のアメダス平均気温から予測。
４月 29 日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算。
前年の第１世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

今後の気温が平年よりも高く推移すると、表の発生ピークは現時点の予測日より若干早まる可能性があります。

なお、５月２日発表予定の「令和７年度病害虫発生予報第２号（５月）」に、最新の気温データを基にした発生ピーク予測日を掲載しますので、参考にしてください。（https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/index.html）

２　防除対策

ブドウでは、例年５月上旬頃から成虫の飛来があり（図）、カキでは開花期頃から成虫の飛来が多くなります。

チャノキイロアザミウマの防除では、成虫発生ピーク時の農薬散布が最も防除効果が高いとされています。例年発生の多いほ場では、第１世代成虫の発生ピーク時期に防除しましょう。

また、防風用に植えているイヌマキやサンゴジュなどは、本種の発生源になりますので、これらでの発生状況にも注意しましょう。

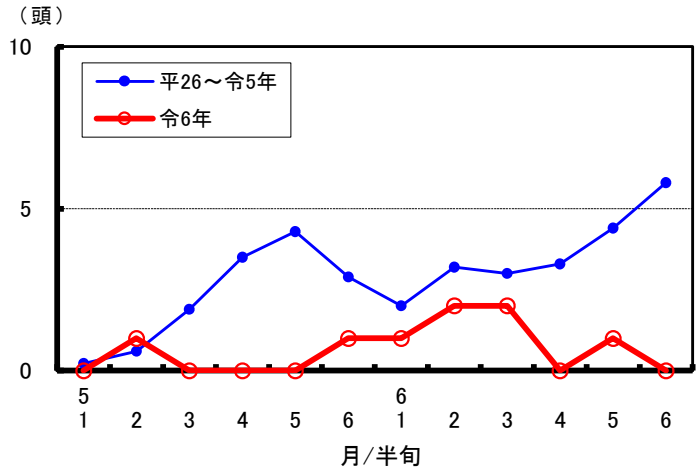

図　東浦町（ブドウ）の黄色粘着板におけるチャノキイロアザミウマの誘殺状況

（平成 26～令和５年の平年値及び令和６年のデータ）